

連携提案：武道教育を核にし、上越の精神文化〈第一義〉を活かした人づくり

キーワード：剣道、武道、第一義、人づくり、人間力

副学長・教授

直原 幹 Jikihara Kan

連携提案内容と効果

上杉謙信の「義」や直江兼続の「愛」といったキーワードに共感を覚えるのは私だけでしょうか。どのように時代が変わろうとも、世の中には、変わってはならないものや大切なものが沢山あると思います。例えば、平和を愛する心、思いやりの心、家族や仲間の絆、礼儀、責任感などです。多くの仲間と武道を楽しみながら、武道を通じてこれらの大切なことを守りたいと思っています。20年以上にわたり、少年剣道の稽古会を上越市内で継続し、「第一義」の心を活かした子供達のありかたについて考えてきました。そして、子ども達が「安心して自分を出せる居場所」を目指してきました。武道の稽古や武道の仲間が、みなさんの生活において意味のあるものになることを願っています。



アピールポイント

- ・少年剣道の出前指導
- ・指導法支援
- ・武道講演活動

連携したい分野

武道を通して文化振興を図ろうとする自治体や子供達の人間教育を図ろうとする学校、企業

研究テーマ：武道における指導法、武道教育の今日的意義

	プロフィール 昭和33年兵庫県神戸市生まれ。昭和60年から上越教育大学。平成29年から入試・学生・地域連携担当副学長。新潟県剣道連盟審査員。上越市県道連盟理事長。高田修道館館長。	専門分野	運動学、健康・スポーツ科学
		主な研究内容	武道の指導法研究。 東洋的体育の今日的意義に関する研究。 スポーツトレーニングの理論研究。

関連する業績等

「保健体育」における「21世紀を生き抜くための資質・能力」の「思考力」の捉え方に関する検討 上越教育大学研究紀要 35(2) 657-674 2017年
 剣道初心者における「送り足」習得後の「踏み込み動作」への応用可能性に関する実践的検討 武道学研究 44(3) 107-119 2012年
 武道における伝統的な言語指示を用いた注意の焦点化が立位時の静的平衡能に及ぼす影響 武道学研究 41(2) 25-34 2009年
 体育科教育における今後の武道指導に関する考察 上越教育大学研究紀要 28 235-242 2009年
 中学生剣道における礼法指導後の心理的特徴の変化と競技面への適応可能性 武道学研究 37(1) 21-30 2004年
 文部省指定「武道指導推進校」の実践内容に関する研究 武道学研究 34(1) 11-22 2001年